

記載例

様式第3 (第52条関係)

(令和 5 年度)

報告の対象期間が3月末までのため、  
4月以降に作成してください。

第一種フロン類充填回収業者のフロン類充填量及び回収量等に関する報告書

令和 6 年 ● 月 ● 日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

個人事業主は屋号ではなく、  
登録した個人名をご記入ください。

(郵便番号) 〒 310-8555

住 所 茨城県水戸市笠原町978-6

氏 名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

(株)フロン充填回収

代表取締役 茨城 太郎

電話番号 123-456-7890

登録番号 茨 99999 号

5桁の番号を記入してください。

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律第47条第3項の規定に基づき、  
次のとおり報告します。

【記入にあたっての注意点】

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 別紙は、原則として、以下の数式となるようにすること。

CFC	② + ③ = ④ + ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧
HCFC	⑩ + ⑪ = ⑫ + ⑬ + ⑭ + ⑮ + ⑯
HFC	⑱ + ⑲ = ⑳ + ㉑ + ㉒ + ㉓ + ㉔

- 3 第49条第2号に該当する場合にあっては、引渡し及び返却の年月日、申請者の氏名又は名称及び住所並びにフロン類の種類ごとの量を記載した書面を添付すること。
- 4 報告する数値は小数点以下第三位を四捨五入し、小数点以下第二位までを記載すること。

【担当者】

記載内容についてお問い合わせさせていただくことがありますので、ご記入ください。

所属	(株)フロン充填回収 管理部		
氏名	茨城 太郎	日中連絡のとれる 電話番号	000-0000-0000
		FAX番号	123-456-7890

必ずご記入ください。

CFC (R11、R12、R113等)						
	(1) エアコンディショナー		(2) 冷蔵機器及び冷凍機器		(3) 合計	
	設置	設置以外	設置	設置以外	設置	設置以外
<b>&lt;整備&gt;</b> 漏えい修繕等の整備時に回収する場合	台	kg	台	kg	台	kg
<b>&lt;廃棄等&gt;</b> 廃棄や譲渡の際に回収する場合	台	kg	台	kg	台	kg
<b>回収</b>	整備	廃棄等	整備	廃棄等	整備	廃棄等
CFCを回収した第一種特定製品の台数	2 台	1 台	5 台	3 台	7 台	4 台
②回収した量	4.00 kg	10.00 kg	10.00 kg	15.00 kg	14.00 kg	25.00 kg
③年度当初に保管していた量 (令和5年4月1日現在の保管量)					0.00 kg	10.00 kg
④第一種フロン類再生業者に引き渡した量					14.00 kg	15.00 kg
⑤フロン類破壊業者に引き渡した量						
⑥法第50条第1項ただし書の規定により自ら再生し、充填したフロン類の量						
⑦第49条第1号に規定する者に引き渡した量						
⑧年度末に保管していた量 (令和5年3月31日現在の保管量)						
<b>&lt;設置&gt;</b> 新規に設置する際に配管等に追加充填する場合						
<b>&lt;設置以外&gt;</b> 漏えい修繕等の整備時に充填する場合						

画像認識に使用するので、大きくはっきりとご記入ください。

**<設置>**  
新規に設置する際に配管等に追加充填する場合

**<設置以外>**  
漏えい修繕等の整備時に充填する場合

HCFC (R22等)						
充填	(1) エアコンディショナー		(2) 冷蔵機器及び冷凍機器		(3) 合計	
	設置	設置以外	設置	設置以外	設置	設置以外
CFCを充填した第一種特定製品の台数	0 台	1 台	5 台	7 台	5 台	8 台
①充填した量	0.00 kg	0.00 kg	20.00 kg	5.00 kg	20.00 kg	5.00 kg
<b>回収</b>	整備	廃棄等	整備	廃棄等	整備	廃棄等
CFCを回収した第一種特定製品の台数	1 台	0 台	10 台	0 台	11 台	0 台
②回収した量	0.00 kg	0.00 kg	20.00 kg	0.00 kg	20.00 kg	0.00 kg
③年度当初に保管していた量 (令和5年4月1日現在の保管量)					10.00 kg	
④第一種フロン類再生業者に引き渡した量					0.00 kg	
⑤フロン類破壊業者に引き渡した量					20.00 kg	
⑥法第50条第1項ただし書の規定により自ら再生し、充填したフロン類の量					0.00 kg	
⑦第49条第1号に規定する者に引き渡した量					0.00 kg	
⑧年度末に保管していた量 (令和6年3月31日現在の保管量)					10.00 kg	0.00 kg

②+③ (30kg)  
= ④+⑤+⑥+⑦+⑧  
(30kg)

**※1) 整備(修理)等で、回収したフロンをそのまま全て再充填した場合、回収量及び充填量は「0」kgとなり、台数のみカウントします。**

(例) エアコン1台の修理の際、10kgのフロンを回収し、修理完了後回収したフロン10kgを同一のエアコンに戻した場合、**充填量は「0」kg、台数は1台**となります。

一部項目について

項目番号	項目名	記入内容
⑥⑭⑳	法第50条第1項ただし書の規定により自ら再生し、充填したフロン類の量	自ら回収したフロン類を分析機器を用いて正しく分析し、適切に再生したうえで、自らが充填したもの。充填した量として、①⑨⑰にも量を記入して下さい。 <b>回収したフロンを同一機器に戻し充填する場合はこれに含めず、台数のみ記入する。(上記※1)</b>
⑦⑮㉑	第49条第1号に規定する者に引き渡した量	茨城県では当該事業者はありません。隣県が認めた事業者引き渡してください。
⑧⑯㉒	年度末に保管していた量	回収したフロン類のうち、令和6年3月31日現在で保管していた量です。 <b>充填のため新規に購入したフロンはこれに含めません。</b>